ことわざフォーラム2026

近代のことわざ研究を顧みる

12月5日（土）於：成蹊大学６号館６Ｆ会議室

どなたでも参加できます（無料）

プログラム

AM10～　研究発表（自由テーマ）

会員による研究報告です。

大島中正「ことわざを足がかりとする思索－外山滋比古『忘却の整理学』のことわざ－」
北澤篤史「ことわざの用例のカウント法」
長谷川スベトラ「ブルガリアを象徴するシンボルとそのことわざ」
星 宏和 「分野を超えてひろがることわざの新用法」
武田勝昭「柳田・庄司によることわざ起源論の再考」

AM12～PM１　〈昼食休憩〉

玉村禎郎「中世日本における諺意識」
永野恒雄「英米法の法諺」

PM２～ 古典芸能

横山裕子さん（箏曲演奏家）をゲストに迎え、**「琴（箏）にかかわる慣用句とことわざ」**について演奏を交えながらお話しいただきます。（後半は**箏曲ミニコンサート**）

PM３～５ シンポジウム“近代のことわざ研究を顧みる”

パネリストと報告タイトル

小田富英氏（柳田国男全集編集委員）「柳田学から庄司全面教育学へ －コトワザ研究の歩みと課題－」

梶 茂樹氏（京都大学名誉教授、言語学・アフリカ研究）「レガ族の知恵の紐」

鄭 芝淑会員（鹿児島大学准教授、日韓のことわざ比較研究）「韓国近代のことわざ研究史」

北村孝一会員（ことわざ研究者）「日本近代のことわざ研究を顧みる」

ことわざに関心のある研究者・学生・市民の皆様の参加を歓迎いたします。

主催ことわざ学会

http: //kotowazagakkai.com/